

消費者行政調査活動の取り組み「報告・交流会」

日時 2022年2月18日(金)14:00~15:30 オンライン(Zoom)
 参加者 38名(コープみらい、パルシステム東京、東都生協、消費者団体、行政職員)
 主催 東京消費者団体連絡センター・東京都生協連消費者行政連絡会

【司会】
 東都生協
 組合員常任理事
 橋本 好美さん



開会挨拶



東京都生協連
 秋山 純専務理事

消費者行政調査活動も12年目を迎え、昨年度はできなかった懇談をオンラインと面談の形式で実施し、コロナ禍だからこそ行政の皆さんと連携できることの多さに気づかされました。本日は今年度の取り組みを振り返り、来年度に向けて互いの協力を深めるための会にしたいと思います。

プログラム

- ・2021年度の取り組み報告と2022年度に向けての課題
- ・行政担当者と懇談参加者からのリレー報告 東村山市/コープみらい/パルシステム東京/東都生協
- ・グループ交流

2021年度の取り組み報告と2022年度に向けての課題

今年度の取り組みは、新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを活用し、短時間でも懇談がおこなえるよう「懇談でお話しいただきたいこと」を事前に集約・送付するなどの工夫をしました。懇談では、取り組みの目的に沿った成果を得られました。

次年度に向けて、オンラインの活用や共通の質問を用意したことの効果を検証し、さらに消費者行政調査活動に対する関心を広げる工夫が必要です。

東京消費者
 団体連絡センター
 事務局長
 小浦 道子さん



取り組みの目的

- ①地域の実情を知り、消費者団体や消費者が私たちのまちづくりに力を発揮します。
- ②調査活動を通して、行政との連携や参画が進むことを目指します。
- ③消費者団体が協働して取り組むことで、さらに連携の輪を広げ、消費者行政の充実・活性化を図ります。

2021年度の主な取り組み

- ・53区市町村にアンケート調査(6月) 回収率98%
- ・「懇談担当責任者打ち合わせの会」(8月2日)参加30名 オンライン開催
- ・「学習と懇談に向けて」(9月2日)参加120名 オンライン開催
- ・「区市町村消費者行政担当者との懇談」(10月~11月)23自治体で実施
 地域の生協組合員や職員・消費者団体、事務局等の延べ126名
 行政職員41名が参加 オンライン懇談18自治体、訪問・懇談5自治体
- ・2021年度「報告・交流会」(2月18日)参加38名 オンライン開催

リレー報告

東村山市の消費者行政について

東村山市
 市民相談・交流課
 石川 正行さん



昨年より啓発事業に力を入れ始めました。高齢者見守りネットワークの一環として出張講座や啓発物の配布を実施しています。消費者啓発講座では、親子バス見学会、エシカル消費講座、終活講座を実施します。

成年年齢引き下げに向けて、市内5校の高校に出前授業の意向調査をおこない、3校で出前寄席、講和、クイズや生徒によるロールプレイを交えた出前授業を実施しました。今後の課題は、未実施の高校への働きかけ、出前授業・出張講座に対応できる体制づくり、啓発プログラムの開発等です。

台東区・中央区懇談に参加して

コープみらい
 東田 由美子さん



区施設でのオンライン状況、成年年齢引き下げに向けた取り組み等をお聞きました。他団体の視点や複数の区を知ることのできる質問もあるので、初めての方も複数の懇談に参加するとよいと思います。

多摩市懇談に参加して

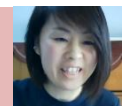
パルシステム東京
 山口 祐美子さん



初めて懇談に参加して、消費者行政について勉強になりました。懇談後は、成年年齢引き下げに興味を沸き、注目するようになりました。今後、協力できることを検討していきます。

荒川区懇談に参加して

東都生協
 永谷 聖子さん



初めて懇談担当責任者を担当しましたが、スムーズにアポ取りができました。懇談では、荒川区の報告や他生協の話を聞き、若年層へ向けての啓発のお手伝いをしていきたいと思いました。

グループ交流・アンケートより(抜粋)

成年年齢引き下げの啓発に取り組みたいです。／消費者センターと日頃のつながりが大切。／各地の取り組み状況や担当の方々の顔が見え、声も聞けてよかった。／東村山市の取り組みがとても新鮮でした。笑いを交えた消費者喚起を私も取り組みに加えたいです。